



第34回みみの日記念大会

北京オリンピック シンクロ日本代表 石黒由美子氏が記念講演

ひた向きな努力で障害を克服し日本代表に

第34回みみの日記念大会が3月4日(日)、大阪市立北区民センターで行われ、約650人の参加者が集いました。

今回は、石黒由美子さんによる記念講演、アートラクションとして奈良ろう者劇団「大仏も笑う会」による手話喜劇と、恒例の福引の3本立てでした。

式典では大竹会長から「昨年6月に聴覚障害者情報提供施設ができ、今年4月には堺市にもできます。これでは大阪府は情報提供施設を二つ持つことになりました。2012年度から会費が見直されたり、公益社団法人に代わりますが、皆で力を合わせてしっかりと協会を作りたい。」と、大会挨拶がありました。

記念講演

記念講演は、2008年北京オリンピック女子シンクロナイズドスイミング日本代表の石黒由美子さんでした。約20分間の石黒さんの生い立ちのDVD上映の後、講演に入りました。

交通事故によって人生が変わり、治療中にテレビでシンクロナイズドスイミングを見て、オリンピックに出たいと思うようになりました。翌年からリハビリも兼ねてシンクロを始め、オリンピックを目指すようになります。

幾度の困難に遭いますが、その度に母のサポートもあり、困難を乗り越え北京オリンピックに出場して夢をかなえる事になりました。

夢ノートには「人の役に立ちたい」と書いてあります。どうしたら叶うのか？ボロボロに涙を流しながら書いた夢が10年15年後にかなっている。本当にたくさんの人に支えられて夢が

奈良ろう者手話劇団「大仏も笑う会」
久々の本格的な手話劇に会場に笑いが起こる

2ページに掲載